

2019年LPGA ツアー開幕戦
『第32回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』
開催のお知らせ

ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社（RBC）は、2019年3月7日から10日までの4日間、沖縄県南城市の琉球ゴルフ倶楽部にて、2019年LPGA ツアーの開幕戦『第32回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』（以下、ダイキンオーキッドレディス）を開催いたします。

ダイキンオーキッドレディスは、1988年の第1回大会より温暖の地・沖縄から全国にゴルフシーズンの幕開けを告げる大会として親しまれています。2016年の第29回大会からは、日本女子プロゴルフ協会のツアー強化の方針に賛同し、競技日程を3日間大会から4日間大会に移行、賞金総額も1億2,000万円（優勝賞金2,160万円）となり、トッププレーヤーが揃う大会となっています。

大会では、“Ever Onward with OKINAWA”を掲げ、沖縄のアマチュアゴルファーを本大会に推薦する「アマチュアゴルフ選手権大会」の開催や、沖縄の芸術・文化・スポーツ・教育等の振興を支援する「オーキッドバウンティ」の設立、沖縄の園児から高校生までを対象にした「大会ポスターデザインの公募」など、地元とともに発展するトーナメントとして歴史を重ね、今年で第32回大会を迎えます。



トッププレーヤー108名が出場、ツアー開幕をかざる豪華な顔ぶれが揃う

今年のダイキンオーキッドレディスには、ディフェンディングチャンピオンの**イミニョン**をはじめ、2018年LPGA ツアー賞金女王で本大会を2度制した**アンソンジュ**、ツアー史上初めて同一年度公式戦3勝を達成し賞金ランキング2位の**申ジエ**、昨年は怪我に苦しみ出場試合が限られながらも賞金ランキング3位につけた**鈴木愛**や、**成田美寿々**、**菊地絵理香**など賞金ランキング上位の実力者が揃います。また、昨年初優勝を飾った**勝みなみ**、**大里桃子**をはじめ、幾度となく優勝争いを演じ、賞金ランキング8位の活躍を見せた**小祝さくら**など、昨シーズンを席卷した'98年度生まれの“黄金世代”も参戦いたします。



地元・沖縄県勢からは、黄金世代の一角として躍進を続ける**新垣比菜**が、ダイキン工業所属となり初の大会を迎えます。同じくダイキン工業所属で、昨年大会で3位入賞を果たした**諸見里しのぶ**、昨季は出場試合の半数の18試合でベスト10入りを果たし、賞金ランキングでは自己最高の4位に入った**比嘉真美子**、2年連続でシードを維持した**大城さつき**、21年連続出場で本大会への出場となる**上原彩子**、今年から初の日本ツアー本格参戦となる**宮里美香**などが出場する予定です。

賞金女王を占う重要な一戦

今年も日韓の有力選手による賞金女王をめぐる争いが繰り広げられるのか、新星が登場するのか、開幕戦に注目があつまります。

日本勢の筆頭の**鈴木愛**は、昨シーズン前半で4勝したものの、右手首の怪我に苦しみ、出場試合が限られましたが、賞金ランキング3位に入るとともに平均ストローク部門、平均パット数部門で1位に輝くなど存在感を見せつけ、今季は賞金女王奪還に燃えています。地元沖縄勢の**比嘉真美子**は、2017年シーズンに続き、昨季も出場33試合中18試合でベスト10入りする安定した戦いを展開。日本勢のエース格として、地元での優勝をきっかけにさらなる飛躍に期待がかかります。昨シーズン3勝を挙げ、賞金ランキング5位で悲願の年間獲得賞金1億円を突破した**成田美寿々**も虎視眈々と女王載冠を狙います。

韓国勢は、昨年のLPGAツアーで年間5勝、2位6回と高水準のパフォーマンスを発揮した**アンソンジュ**が、過去2勝を挙げている相性の良いダイキンオーキッドで、2年連続賞金女王に向け、開幕戦からスタートダッシュを狙います。そのほか史上初の同一年度公式戦3勝を含むシーズン4勝を挙げ、メルセデス最優秀選手賞の座に輝いた**申ジエ**や、本大会ではトップ10入り6回と抜群の相性を誇る2015年、2016年の賞金女王**イボミ**などが開幕戦に照準を合わせます。

若手とベテランの戦いに注目

昨今のLPGAツアーは、実力が拮抗し群雄割拠の様相を呈しています。昨シーズンは若手の台頭が目立つ一年となりました。初優勝を飾った**新垣比菜**、**大里桃子**、**勝みなみ**のほか、**小祝さくら**、**原英莉花**ら1998年度生まれ“黄金世代”の選手を筆頭にニューヒロインが誕生。賞金シード選手の平均年齢26.4歳で、記録が残る2001年以降で最年少となり、世代交代の波が押し寄せています。

一方で昨年41歳での復活優勝を飾った**大山志保**、賞金ランキング45位でシード復帰を果たした**佐伯三貴**、QT1位通過で出場権を獲得した**原江里菜**、米ツアーでの優勝経験もある**宮里美香**の初の日本ツアー本格参戦など、歴戦の実力者たちも戦線に加わります。「若手 vs ベテラン」の図式からも目が離せません。

15年ぶりの沖縄県勢選手の優勝に期待

地元沖縄県勢では、ダイキン工業所属で、昨年大会で3位タイとなった**諸見里しのぶ**をはじめ、2018年シーズンで初優勝を飾り賞金ランキング23位と飛躍の年となった**新垣比菜**がダイキン工業所属として初めて本大会に参戦いたします。賞金ランキングで自己最高の4位に入る活躍を見せた**比嘉真美子**、2年連続でシード権を守った**大城さつき**、今年で本大会21年連続出場となる**上原彩子**のほか、今季、自身初の日本ツアー本格参戦を決めた**宮里美香**の出場が決まるなど、活躍が期待される選手が揃います。地元の熱い声援を受け、2004年の宮里藍以来となる沖縄県勢による優勝を目指して活躍が期待されます。

<県勢選手の紹介>

諸見里しのぶ/Shinobu Moromizato

沖縄県名護市出身

所属：ダイキン工業

1986年7月16日生（32歳）

優勝歴：日本ツアー9勝（うち公式戦3勝）



★ダイキン工業所属でホステスプロの諸見里しのぶが今年もホステスプロとして大会を盛り上げます。

ツアー通算10勝目、シード復帰に向けてトレーニングに励んでいます。アマチュア時代にLPGAツアー最年少予選通過記録(当時)を樹立するほか、プロ入り後の2010年大会では2位タイをはじめ、昨年大会で優勝争いを演じ3位タイに入るなど活躍してきたダイキンオーキッドレディス。地元の大観衆の前で劇的な復活を誓います。

<ダイキンオーキッドレディス戦歴> 16年連続19回目の出場 ベストフィニッシュ 2位タイ

2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)
C	51I	44I	—	5I	16I	15T	C	18T	33T	2T	47T	16T	46T	C	10T	C	C	3T

※下線はアマチュアとして出場

～ダイキンオーキッドレディスに向けてのコメント～

「昨年のダイキンオーキッドは3位に入ることができてシーズンの幸先の良いスタートが切れました。毎年のことですが地元開催、所属先の試合ということもあり皆様からたくさんのエネルギーをいただける試合です。開幕まで2か月を切りましたが心技体を充実させて試合にのぞむべく取り組んでいきます。昨年以上に参加選手のレベルも上がってくると思われれます。いかに上位へ食い込めるかが今シーズンを見据えるうえでも大きなポイントになると思うので、昨年以上の成績を目指して頑張りたいと思います」

新垣比菜／Hina Arakaki

沖縄県うるま市出身

所属：ダイキン工業

1998年12月20日生（20歳）

優勝歴：日本ツアー1勝



★ダイキン工業所属でホステスプロの新垣比菜が所属後初めて本大会に臨みます。昨年4月にツアー初優勝を果たし、賞金ランキングは23位と黄金世代の一員としてツアーを牽引。アマチュア時代には5年連続でベストアマチュアに輝いた舞台で、憧れの宮里藍プロ以来の沖縄県勢優勝を目指し大会を盛り上げます。

<ダイキンオーキッドレディス戦歴> 7年連続8回目の出場 ベストフィニッシュ 21位タイ

2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)
C	—	<u>28T</u>	<u>21T</u>	<u>33T</u>	<u>35T</u>	<u>46T</u>	<u>52T</u>

※下線はアマチュアとして出場

～ダイキンオーキッドレディスに向けてのコメント～

「今シーズンは複数回優勝することが目標なので、良い弾みをつけられるように一生懸命頑張ります。ダイキンオーキッドは、たくさんある試合の中でも一番思い入れのある試合なので、とにかく優勝したいです。地元のギャラリーにいつもの試合以上に良いプレー、活躍を見せたいと思います。ずっと小さい頃から知っているコースなので、不安はありませんが、久しぶりの高麗芝なので、オフの内に芝に慣れておいて、しっかり調整したいと思っています。主催企業所属としてこの試合に出るのは初めてなので、どういう心境になるかはまだ予想もつかない部分もありますが、今までよりも気合が入るのは間違いないので頑張りたいです」

比嘉真美子／Mamiko Higa

沖縄県国頭郡本部町出身

所属：TOYO TIRES

1993年10月11日生（25歳）

優勝歴：日本ツアー4勝



★アマチュア時代はナショナルチームのエースとして活躍、日本ジュニア、日本女子アマ、日本女子オープンローアマなど数々のタイトルを手にして、2012年のプロテストに一発合格を果たし、翌2013年には10代でツアー2勝を挙げた逸材です。しかし2015年に極度のスランプに陥り、シードを喪失しますが、2016年にはシード復帰を果たし、2017年シーズンは4年ぶりに復活優勝、2018年シーズンも1勝のほかトップ10入り18回で、賞金ランキングは自己最高の4位と大躍進。完全復活した比嘉真美子プロの更なる活躍が期待されます。

＜ダイキンオーキッドレディス戦歴＞ 8年連続10回目の出場 ベストフィニッシュ 2位タイ

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)
C	12I	—	—	16I	C	2T	28T	C	7	C

※下線はアマチュアとして出場

～ダイキンオーキッドレディスに向けてのコメント～

「昨年大会は、調子が良かったのにも関わらず、パットが入らずに予選落ちをしてしまい、非常に悔しい結果になってしまいました。昨シーズンは、状態が良いのに初日からパフォーマンスを発揮出来ないという課題が残る1年だったので、今オフは試合に入る前の準備やコンディションを整えることを重点に強化していきたいと思っています。

1年前の私より、今年は成長した部分を地元沖縄の皆様に見せたいですし、私にとってダイキンオーキッドレディスはメジャーと同じぐらい、それ以上の思い入れのある大会ですので、去年の悔しさを胸に今年は勝つという強い気持ちを持って臨みたいと思います」

大城さつき／Satsuki Oshiro

沖縄県糸満市出身

所属：フリー

1989年9月5日生（29歳）



★ジュニア時代には高校総体や県内大会など多くのタイトルを獲得し、2007年にはJGAナショナルチームにも抜擢されました。2009年20歳でプロテストに合格し、2010年のファイナルQTで3位に入り、2011年よりツアーに本格参戦。2017年大会では、優勝争いを演じて開幕戦から3位と好スタートを切り、シーズンを通して好調を維持、賞金ランキング44位でプロ9年目にして悲願の初シード権を獲得しました。2年連続でシードを維持した今年も、開幕戦から良い弾みをつけたい所です。

＜ダイキンオーキッドレディス戦歴＞ 10年連続13回目の出場 ベストフィニッシュ3位タイ

2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)
C	C	C	—	—	27T	51T	C	36T	58T	20T	42T	3T	C

※下線はアマチュアとして出場

～ダイキンオーキッドレディスに向けてのコメント～

「ダイキンオーキッドはツアー開幕戦ですし、沖縄で行われる唯一の試合なので、特別な大会です。昨年の試合は、初めてシード選手として臨みましたが、リズムが掴めず6年ぶりに予選落ちをしてしまい、とても悔しい思いをしました。昨年のオフはトレーニングメインで取り組んでいましたが、今年は試合勘を大事にしたいのでラウンドを中心に行い、開幕戦から良いスタートを切りたいと思っています。地元開催ですし周りの方々も期待してくれているので、今年は優勝争いに加われるようにしたいです。今年も妹がキャディーをしてくれるので心強いですし、今年こそ優勝できるように頑張ります」

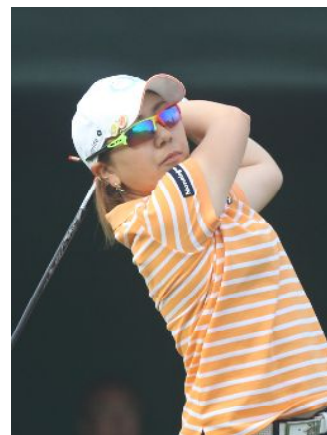
宮里美香 / Mika Miyazato

沖縄県那覇市出身

所属：NTT ぷらら

1989年10月10日生（29歳）

優勝歴：日本ツアー2勝、米国ツアー1勝



★8歳からゴルフをはじめ、世界ジュニア、日本ジュニアで優勝などジュニア時代から数々のタイトルを獲得。2008年12月には米女子ツアー最終予選会12位通過で、翌年のツアー出場権を獲得しプロ転向を宣言しました。以降は米ツアーで世界のトッププレーヤーを相手に戦っています。2010年日本女子オープンで初優勝を果たし、2012年にはセーフウェイクラシックで米ツアー初優勝、2013年には日本女子オープンで2度目の優勝を飾っています。

今季は自身初めてとなる日本ツアー本格参戦を表明しており、アメリカで培った技術と経験を武器に、故郷での開幕戦優勝に期待がかかります。

<ダイキンオーキッドレディス戦歴> 3年連続12回目の出場 ベストフィニッシュ5位タイ

2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)
<u>30I</u>	<u>8I</u>	<u>16I</u>	—	<u>29I</u>	—	—	—	C	C	12T	15T	5T	—	25T	17T

※下線はアマチュアとして出場

～ダイキンオーキッドレディスに向けてのコメント～

「ダイキンオーキッドで私は育ったと言っても過言ではないですし、優勝を果たしたい思いが強い大会です。2018年シーズンは、ダイキンオーキッドに出場したあと、年間を通して出場試合は少なかったのですが、今年から日本ツアーの出場試合数が増えるので、オフの間に一年間を通して戦える筋力と体力の強化を図っています。地元開催ということもあり、県民の方々も期待してくれていると思うので優勝できるようにベストを尽くして頑張ります」

上原彩子 / Ayako Uehara

沖縄県那覇市出身

所属：モスバーガー

1983年12月22日生（35歳）

優勝歴：日本ツアー3勝



★2004年のプロテストでトップ合格を果たすなど将来を有望視され、2008年には念願のツアー初優勝を飾りました。2013年に主戦場をアメリカへと移してからは、昨年のメジャー大会 ANA インスピレーションで最終日、一時首位に立ち優勝争いを演じるなど、賞金ランキング 63 位で 6 年連続のシードを維持、世界を相手に第一線で戦っています。

1999年の初出場以来、今年で21回連続出場を誇るベテランが地元大会での活躍を期します。

<ダイキンオーキッドレディス戦歴> 21年連続21回目の出場 ベストフィニッシュ2位タイ

1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)
C	C	C	C	30T	C	C	29T	7T	13T	2T	7T	44T	46T	32T	26T	C	C	27T	23T

※下線はアマチュアとして出場

～ダイキンオーキッドレディスに向けてのコメント～

「今年も推薦をしていただき、21回連続で出場できることを、とても嬉しく思っています。ダイキンオーキッドは地元で開催される唯一の試合ですし、アマチュアの頃から出場させていただいて、プロになるきっかけを作ってくれた大会なので、思い入れが強い試合です。地元の方々がたくさん応援に来てくれますし、そういう皆さんの前で良いプレーをして、優勝する姿を見せることが一番の恩返しになると思っています。オフの間にしっかり準備をしていって、良い戦いができるようにしたいです。優勝を掴み取れるように頑張ります」

ダイキンオーキッドレディス アマチュアゴルフ選手権大会

～上位 4 名がダイキンオーキッドレディスに出場～

『ダイキンオーキッドレディス アマチュアゴルフ選手権大会』（以下、アマチュア大会）は、1997年のダイキンオーキッドレディス第 10 回記念大会より、地元沖縄県のスポーツ振興を目的に開催され、今年で 23 回目を迎えます。沖縄県在住または沖縄県出身の女性アマチュアプレーヤーであれば参加することができ、過去 22 回の大会で 4,000 人を超える選手にご参加いただいています。

これまでアマチュア大会をステップに地元沖縄出身の新崎弥生、上原彩子、宮里藍、宮里弘子、諸見里しのぶ、金井智子、宮里美香、大城さつき、上原美希、川満陽香理、山里愛、与那覇未来、比嘉真美子、山城奈々、大城美南海、山口春歌、小宮満莉花、新垣比菜の 18 名のプロが誕生しています。

今年は、1 月 28 日（月）、29 日（火）の 2 日間、本戦会場となる沖縄県南城市の琉球ゴルフ倶楽部で開催されました。

232 名エントリーの熾烈な競争を勝ち抜き、見事本戦出場を決めたのは、**金城沙希**さん、**比嘉里緒菜**さん（興南高校 1 年）や、**星川ひなの**さん（日本大学 1 年）、**翁長由佳**さんの上位 4 名です。勢いに乗るこの 4 名が、本戦でどのような活躍を見せてくれるのか。新たなヒロイン誕生に是非ご注目ください。



（写真：左から金城さん、比嘉さん、星川さん、翁長さん）

アマチュア通過選手コメント

1 位 金城 沙希（きんじょう さき）さん

「アメリカから帰ってきたからには、結果を出さなければというプレッシャーという不安もありましたが、通過が最低限の目標だったので、優勝出来たのは本当に嬉しいです。本戦ではしっかり予選通過して、普段アメリカ頑張っている成果を地元の方たちにしっかり見てもらいたいです。プロにも負けずに頑張りたいと思います」

2 位 比嘉 里緒菜（ひが りおな）さん

「自分のプレーに集中することを心がけた結果、大崩れすることなく楽な気持ちでプレーすることができました。本戦では、プロのプレーを間近で見ることができる貴重な機会ですし、これからの自分にとっての課題が見えてくる大事な場所になると思うので、今の自分の力がどの程度なのか知るために精一杯臨みたいと思います」

3 位 星川 ひなの（ほしかわ ひなの）さん

「前回出場時は、初めてのプロツアー参戦だったので『経験を積めれば良い』と思っていましたが、今回は結果を求めていいレベル、年齢になったので欲を出してプレーしたいです。プロツアーでまだ予選通過したことがないので、まずは予選通過を目指して、上位争いが出来れば良いなと思っています」

3 位 翁長 由佳（おなが ゆか）さん

「楽しくリズム良くプレーできればスコアはついてくると思っていたので、通過することができてこの上なく嬉しいです。このアマチュア大会では、ずっと予選を通過できていなくて 7 年ぶりの本戦出場となりますが、久しぶりに巡ってきた一度きりのチャンスだと思って、残り一ヶ月しっかり練習して予選通過を目指します」

2019 年大会ポスターデザインが決定

ダイキンオーキッドレディスでは、沖縄の芸術振興の一助になればとの思いから、沖縄県および関係各位のご協力を得て、2002 年大会からポスターデザインの公募を実施しており、今回が 18 回目となりました。沖縄県に在住、または本籍地が沖縄県の園児、小学生、中学生、高校生を対象に募集しました。今年も地元沖縄から、総勢 1,067 点の応募をいただき、厳正な審査の結果、最優秀賞に国仲 沙那さん（沖縄県立宜野湾高等学校 3 年生）の作品が選出され、第 32 回の大会ポスターとして採用されることになりました。また、優秀賞に 3 作品、佳作に 8 作品、入選 43 作品が選出され、学校賞として 3 校が選出されております。

国仲さんの作品をベースに作成した大会ポスターは、2019 年 1 月より沖縄県下を始め、全国の関係先に掲出されます。

<国仲沙那さん受賞コメント>

最優秀賞に選ばれて、本当に嬉しいです、とても誇りに思います。まさか自分の作品が選ばれるとは思っていませんでしたので、夢かと思うくらい信じられない気持ちで、何度も聞きなおしました。元々、絵を書くのが好きで趣味で描いたりしています。今回はゴルフの絵で、ゴルフ界をもっと華やかにしたいという思いと、「夢の挑戦」という事で描きました。この絵には、『ゴルフが沖縄とともにこれからも輝き続け、そしてこの先さらに盛りあがってほしい』というメッセージを込めています。ボールを真ん中にもってくる事で、ゴルフのインパクトを最大限にアピールできたと思います。また、色づかいとそれぞれの絵の配置を工夫しました。自分の思い描く絵に仕上げるための調整が難しく、完成させるのに 1 週間以上費やしました。自分が描いた絵をもとに仕上げられたポスターが、今後、県内各地に貼られることはとても楽しみで、嬉しく思います。



テーマ『輝き続ける沖縄で』

<審査結果>

※敬称略

最優秀賞	国 仲 沙 那 (17才)			
優 秀 賞	勝 馬 瑠 衣 (15才)		大 城 陽 奈 (14才)	
	嘉 陽 田 琉 志 (17才)			
佳 作	平 田 瑠 沙	造 倉 そ ら の	盛 口 海	井 口 心
	新 垣 華 胡	真 栄 城 萌 子	嘉 手 納 凜 香	玉 代 勢 依 吹
入 選	福 井 南 瑠	長 谷 川 彩 人	當 間 華 鈴	屋 宜 玲 奈
	平 田 瑛 士	赤 嶺 瑠 莉	工 富 ら さ	知 花 海 咲
	平 良 莉 音	上 原 千 佳	後 藤 かな 子	石 嶺 瑠 那
	山 城 夕 佳	西 村 涼 咲	立 本 莉 乃	清 田 樹 音
	新 城 隆 河	平 楓	喜 屋 武 南 々 実	大 湾 詩 依 菜
	上 野 日 向	糸 数 茉 南	安 里 帆 乃 夏	新 城 茉 希
	照 屋 る な	平 川 星 夢	宮 城 あ ん じ ゅ	宮 城 し お り
	新 城 雄 太 郎	永 野 樹	石 倉 風	平 良 悠 人
	花 城 英 斗	湧 川 翔 希	石 原 遙	波 平 梨 乃
	上 原 隆 矢	佐 久 田 和 樹	見 城 優 子	伊 集 妃 杏
	平 田 奈 瑠	平 田 璃 奈	喜 屋 武 真 依	
	学 校 賞	那覇市立開南小学校		那覇市立神原小学校
沖縄県立具志川高等学校				

チケットインフォメーション ～お得な前売券 4 枚セットを 1 月 17 日より先行販売開始！～

競技スケジュール (予定)

※各日開場は 7:00(予定) スタート時間は変更の場合有

2019 第1日	3/7 木	第2日	3/8 金	第3日	3/9 土	最終日	3/10 日
	競技開始 AM8:30(予定)		競技開始 AM8:30(予定)		競技開始 AM9:00(予定)		競技開始 AM8:00(予定)

入場料 (女性・シニア(70歳以上)・高校生以下は無料)

前売券 **¥1,500**(消費税込)1枚につき、お一人様一日通用

当日券 **予選初日、2日目 ¥2,000**(消費税込)
(会場のみ販売) **決勝初日、最終日 ¥3,000**(消費税込)

前売券 セットでオトク!

1/17(木)～3/6(水)
前売券 4枚セットご購入の方へ

特典

お食事券(¥500分)進呈

RBCチケット、県内ゴルフ場、ゴルフ用品販売店、デパートリウボウ、コープあぶれ、ゴルフ5、チケットぴあ(Pコード675-569)、ローソンチケット(Lコード83950)、イープラス(ファミリーマート)、セブンイレブンでお求め下さい。

●お食事券は、3/7(木)～3/10(日)、会場ギャラリープラザ内飲食店舗のみ使用可能。ご利用は1枚1回限り。つり銭はお出しできません。

オーキッド観戦バスツアー

運行日 **3/7(木)～3/10(日)**

■往路…7:15発 ■復路…往路出発時にご案内

発売日 **1/17(木)～2/28(木)** 前売券のみ

観戦チケットセット [前売券 + 往復バス]
¥2,200(消費税込) [1枚 + 利用券]

女性・シニア(70歳以上)・高校生以下の方には、
観戦食事券セット [¥500分 + 往復バス]
¥1,500(消費税込) [お食事券 + 利用券]



お問い合わせ:株式会社セルリアンブルー ☎098(941)6828
(沖縄県知事登録第2-274号)



アクセス



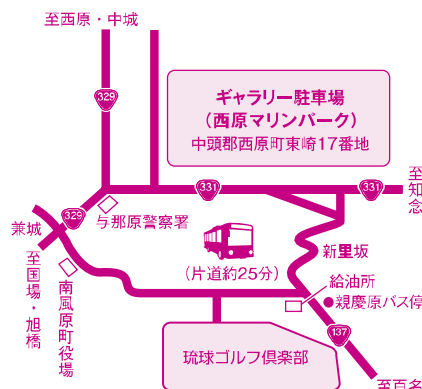
■乗用車…那覇市から15キロ・約40分
沿道主要ポイントに道路案内プレートを設置してあります。大会期間中、ギャラリー駐車場を特設しています。西原マリンパーク駐車場をご利用ください。

ギャラリー駐車場より
会場ゲートまで無料バスを
運行しています(所要:約25分)。

ギャラリーバス始発 各日AM6:30

■バス…那覇バスターミナル発(沖縄バス)
片道660円・約60分 (39)百名線/(41)つきしろの
街線・親慶原下車(徒歩約10分)

■タクシー…那覇市内から約2,500円・約40分



熱戦の舞台は琉球ゴルフ倶楽部

今年も大会の舞台は、沖縄本島南部に位置する琉球ゴルフ倶楽部(沖縄県南城市)です。沖縄ならではのガジュマル、ホルトや椰子といった熱帯植物に囲まれた南国ムードあふれ、東、西、南の27ホールを擁します。海岸線に近いので風が強く吹く日もあり、自然というハザードも魅力の一つです。ダイキンオーキッドレディスでは、1988年の第1回大会から継続して琉球ゴルフ倶楽部にて開催しています。

～ 琉球ゴルフ倶楽部 ～

沖縄県南城市玉城字親慶原1番地 開場:昭和52年7月

設計:梅沢弘 監修:川波義太郎 コースレコード:62st 具玉姫(2003年大会2日目)

トーナメント開催:ダイキンオーキッドレディス(1988～2017年)

ゴルフ東西対抗(2003年)

KYORAKU CUP日韓女子プロゴルフ対抗戦(2009年)

ダイキンオーキッドレディスの歩み(年表)

開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア	大会のトピックス
第1回 1988年	黄 壁洵	±0(216)	-		○LPGAツアーの開幕戦として開催 ○賞金総額4,000万円、優勝賞金700万円 (1988年からLPGAツアー制度を施行)
第2回 1989年	P.リゾ	-5(211)	-		○賞金総額を4,500万円に増額
第3回 1990年	高須 愛子	-3(213)	-		○日本人初のチャンピオンが誕生 ○10月、故・中山泰平氏(元日本興業銀行頭取)の提唱で本土財界と 沖縄財界の協力・交流の場として「沖縄懇話会」が設けられる ○賞金総額を5,000万円に増額
第4回 1991年	A.ベント	-9(207)	-		
第5回 1992年	P.シーハン	-8(208)	-		○賞金総額を6,000万円に増額
第6回 1993年	城戸 富貴	-8(208)	-		
第7回 1994年	福嶋 晃子	-3(213)	-		○福嶋晃子が涙のツアー初優勝。20歳8カ月6日でのツアー優勝は、 当時日本人女子プロ史上3番目に若い記録
第8回 1995年	M.マクガイヤ	-6(210)	-		○オーキッドパウンティの創設
第9回 1996年	リー ウェンリン	-4(212)	-		
第10回 1997年	高 又順	-10(206)	(該当者なし)		○サブタイトルに「Together with OKINAWA」を掲げる ○第1回ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権大会を開催 ○ボランティアスタッフによる大会運営を開始
第11回 1998年	金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)		
第12回 1999年	井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)		
第13回 2000年	藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)		○宮里藍、諸見里しのぶがプロトーナメントにデビュー ・ダイキンオーキッドレディス(ツアー競技)初出場
第14回 2001年	不動 裕理	-3(213)	@諸見里しのぶ	+12(228)	○諸見里しのぶが予選を通過 ・アマチュアゴルフ選手権から初の予選通過者が誕生 ・当時のLPGAツアー最年少予選通過記録を樹立(当時14歳7カ月)
第15回 2002年	藤井 かすみ	-8(208)	@諸見里しのぶ	+4(220)	○大会ポスターデザインの公募を開始 ○地元玉城中学校の生徒を大会に招待
第16回 2003年	不動 裕理	-8(208)	@宮里美香	+2(218)	○具玉姫が2RIに2つのツアーレコードを樹立 ・62ストローク/当時18ホールでの最少ストロークを記録 ・11バーディー/18ホールでの最多バーディー数を記録
第17回 2004年	宮里 藍	-10(206)	@諸見里しのぶ	-3(213)	○宮里藍がプロデビュー後、ツアー初優勝 ・沖縄県勢として初のダイキンオーキッドレディスチャンピオンに
第18回 2005年	藤野 オリエ	+1(217)	@諸見里しのぶ	+8(224)	○大会サブタイトルを「Ever Onward with OKINAWA」 (沖縄とともに限りなき前進)に変更 ○賞金総額を8,000万円に増額
第19回 2006年	西塚 美希世	-8(208)	@笠りつ子	+1(217)	○諸見里しのぶがプロとして初出場
第20回 2007年	米山 みどり	-6(210)	@宮里美香	+2(218)	○米LPGAツアーに参戦中の宮里藍が出場、4位に ○大会史上最多となる29,753人のギャラリーが来場
第21回 2008年	宋 ポベ	-14(202)	(該当者なし)		○宋ポベがトーナメントレコードを更新する14アンダーで優勝 ○米山みどりが最終日の16番ホールでホールインワンを記録。 ホールインワン賞300万円を獲得
第22回 2009年	三塚 優子	-8(208)	@比嘉真美子	-3(213)	○上原彩子が優勝争いを繰り広げ、本大会自己最高となる2位タイに ○比嘉真美子(12位タイ)、森長真理子(53位タイ)と4大会ぶりにアマチュア が複数選手決勝ラウンドに進出
第23回 2010年	アン ソンジュ	-10(206)	@山里愛	+9(225)	○日本ツアー初参戦のアンソンジュが優勝。同年賞金女王に輝く。 (外国人選手の賞金女王は当時ツアー2人目) ○諸見里しのぶが本大会自己最高となる2位タイに
第24回 2011年	朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)		○新垣比菜が大会最年少出場記録を更新(12歳74日、小学6年生)
第25回 2012年	斉藤 愛璃	-10(206)	@比嘉真美子	-5(211)	○斉藤愛璃が三塚優子と李知姫とのプレーオフを制してツアー初優勝 ○比嘉真美子が16位タイに入り、ベストアマを獲得 ○アマチュアの伊波杏莉が2日目の13番でホールインワンを記録。 規定改正後、アマチュアとして初のホールインワン賞、賞金50万円を獲得
第26回 2013年	森田理香子	-13(203)	@新垣比菜	-5(211)	○森田理香子がプロ初優勝。同年LPGAツアー賞金女王に輝く ○新垣比菜が28位タイに入り、ベストアマを獲得
第27回 2014年	O.サタヤ	-8(208)	@新垣比菜	+1(217)	○比嘉真美子が2位タイに ○新垣比菜が21位タイに入り、2年連続ベストアマを獲得。諸見里しのぶに 続き、大会史上2人目の記録
第28回 2015年	テレサ・ルー	-14(202)	@新垣比菜	+1(217)	○新垣比菜が33位タイに入り、大会史上初となる3年連続ベストアマを獲得 ○沖縄県勢では単独の4位に川満陽香理、5位タイに宮里美香が入る
第29回 2016年	テレサ・ルー	-8(280)	@新垣比菜	+8(296)	○世界基準となる4日間競技に変更 ○賞金総額を1億2,000万円に増額 ○テレサ・ルーが史上初の大会2連覇を達成 ○新垣比菜が4年連続のベストアマを獲得
第30回 2017年	アン ソンジュ	-6(282)	@新垣比菜	+9(297)	○第30回記念大会として開催 ○宮里藍が6年ぶりに出場 ○新垣比菜が5年連続のベストアマを獲得
第31回 2018年	イミニョン	-11(205)	@新城莉亜	-2(214)	○第3日は荒天の為、競技中止。54ホールに競技短縮 ○諸見里しのぶが3位タイに入る活躍

～ Ever Onward with OKINAWA～ ダイキンオーキッドレディスの地域貢献活動

ダイキンオーキッドレディスでは、1997年の第10回記念大会から「沖縄と共に歩み続けるトーナメントを目指したい」という願いを込めて、サブタイトルに“Together with OKINAWA”を掲げ、地域と一体となったトーナメントを目指し、大会運営の他にも様々な活動を続けてきました。2005年大会からは「沖縄とともに限りなき前進」という大会の目指す姿を表現した新しい大会スローガン“Ever Onward with OKINAWA”に変更し、さらに一歩進んだ活動を目指しています。

●ダイキンオーキッドレディス アマチュアゴルフ選手権大会の開催

アマチュア選手権大会は、第10回記念大会より、地元沖縄県のスポーツ振興を目的に開催され、今年で23回目を迎えます。沖縄県在住または沖縄県出身の女性アマチュアプレーヤーであれば参加することができ、過去22回の大会でのべ4,000人を超える選手が出場しています。

第1回大会を制した新崎弥生選手が2002年にプロになったのを皮切りに、第3回大会を制した上原彩子選手、第4回の宮里藍選手、第5、6、8回と3度の大会を制した諸見里しのお選手、第7回の宮里美香選手、第18回大会の新垣比菜選手など本大会の優勝者が次々とプロゴルファーとなり、過去22年の大会を通して、18名のプロゴルファーが誕生しています。優勝者の多くがプロ選手になっており、本大会は、沖縄のアマチュアゴルファーの大きな目標であり、プロへの登竜門というべき大会となっています。

●「オーキッドバウンティ」～沖縄の文化・スポーツ振興への支援活動～

1995年の第8回大会から「オーキッドバウンティ」の名称で、沖縄県の芸術、文化、スポーツ、教育等の振興を目的として活動している団体・個人の支援を行っております。プロアマ大会に参加される沖縄と本土の経済人から浄財を募り、主催者の寄付金と合わせて贈呈しております。これまでの支援先は、のべ212件を数え、支援総額は1億4,260万円となっています。

●大会ポスターデザインの公募

2002年の第15回大会より実施したポスターデザインの公募は、沖縄の若い世代の芸術・文化振興に貢献する目的から、2014年より沖縄県に在住、または本籍地が沖縄県の園児、小学生、中学生、高校生を対象に大会ポスターデザインを公募しています。作品は沖縄をイメージさせるものや、ゴルフを連想させるものなど子どもの斬新かつ大胆な発想で描くデザインが大会の雰囲気盛り上げると同時に子どもたちにもダイキンオーキッドレディスはもとより、ゴルフを知ってもらおうきっかけとなっています。現在も大会ポスターを一般公募しているトーナメントはなく、ダイキンオーキッド独自の取り組みです。

●地元ボランティアスタッフによる大会運営

トーナメント開催コースである琉球ゴルフ倶楽部のある沖縄県南城市（旧：玉城村）を中心とした地元の皆様に、ボランティアスタッフとして大会の運営に参加していただいております。1997年の第10回大会から始まったこの取り組みは、毎年多くの方々のご協力を得られるようになり、昨年も500人を超えるの方々のご協力をいただいております。地元ボランティアの皆様のご協力に感謝し、南城市立玉城中学校に図書を寄贈しています。

●「総合学習」の一環として地元中学生をトーナメントに招待

大会では、多くの子供たちにゴルフというスポーツの魅力を通じて様々なことを学び感じてもらうことを目的として、2002年の第15回大会より玉城中学校、2016年の第30回大会より、上山中学校の生徒を会場に招待しています。日本女子プロゴルフ協会の小林浩美会長をはじめ大会スタッフによるレッスン会を兼ねた事前説明会を実施し、当日はコースでプロゴルファーの厳しい勝負の世界にふれるほか、トーナメント運営の現場（大会本部、テレビ中継センター、プレスルーム、速報センター、グリーンキーパー等）を見学していただいております。総合学習を実際に受けた玉城中学校卒業生からプロゴルファー（大城美南海）が誕生しています。

第32回ダイキンオーキッドレディス 大会実施要項

大会名称：第32回 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント

主催：ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社

公認：一般社団法人日本女子プロゴルフ協会

後援：沖縄県、那覇市、南城市、沖縄観光コンベンションビューロー、TBS テレビ

企画運営：琉球放送株式会社

運営協力：株式会社博報堂、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ

開催期日：2019年 3月 4日（月） 指定練習日
3月 5日（火） 指定練習日、前夜祭
3月 6日（水） プロアマ大会
3月 7日（木） 本大会第1日（予選ラウンド）
3月 8日（金） 本大会第2日（予選ラウンド）
3月 9日（土） 本大会第3日（決勝ラウンド）
3月 10日（日） 本大会最終日（決勝ラウンド）

開催場所：琉球ゴルフ倶楽部

〒901-0608 沖縄県南城市玉城字親慶原1番地 TEL：098-948-2460

競技方法：4日間 72ホールズストロークプレー

1日目、2日目を予選ラウンドとし、36ホール終了時、上位50位タイまでが決勝ラウンドに進出する。72ホールを終了し、第1位がタイの場合は、即日指定ホールにおいて、ホールバイホールによるプレーオフを行い、優勝者を決定する。

競技規則：日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則、2019年LPGAローカルルールおよび競技の条件、本大会追加ローカルルールを適用する。

出場資格：LPGAツアー規定による出場有資格者90名
主催者推薦18名（アマチュア含む）

賞金：賞金総額1億2,000万円 優勝賞金2,160万円

特別賞：優勝副賞／ダイキンルームエアコン「うるさら7」
ダイキン除加湿ストリーマ空気清浄機「クリアフォースZ」
＜ダイキン工業㈱ 提供＞
ヤンマーフィッシングボート
＜ヤンマー㈱ 提供＞

琉球放送賞／特製オーキッド絵模様（東道盆）
沖縄県知事賞／琉球ガラス特製品

TV放映：TBS系列全国ネット、BS-TBS

第32回ダイキンオーキッドレディス 大会ロゴ



Ever Onward With Okinawa
Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa
Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa
Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa
Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament

【報道用素材の提供について】

ダイキンオーキッド広報事務局では、大会の報道用素材（昨年優勝者のイミニョン優勝カップ）、諸見里しのぶ、新垣比菜、比嘉真美子、上原彩子、大城さつきなど主な出場予定選手の写真データ、大会ロゴマーク）にデジタルデータをご用意しています。

ご希望の方は、下記大会広報事務局（久保）までご連絡下さい。

肖像権等の問題からお渡しするデータは本大会の報道用にしか使用することが出来ませんので予めご承知おきください。

<本大会に関するお問い合わせ先>

■読者・視聴者用お問い合わせ先

RBCダイキンオーキッド事務局 TEL.098-864-2200 担当／新城・前田・城間・福元

■報道関係者からのお問い合わせ先

ダイキンオーキッドレディス大会広報事務局(株式会社エムシーピーアール内)

TEL.03-6277-8760

担当／久保、成願(じょうがん)